

連載

Turbo

HAMLOGの

部屋

Turbo HAMLOG 開発者
JGIMOU 浜田 博 Hiroshi Hamada

第18回

HAMLOGの表示メニュー

今回は、Turbo HAMLOG/Win (以下、HAMLOG と略します) の [表示 (V)] メニューについてご紹介します。

表示 (V) メニューから

図1は、HAMLOG のメインウィンドウから [表示 (V)] メニューを開いた状況です。

この中からいくつか順に解説します。

Wkd/Cfm マスターデータ集計 (M)

図2は、[表示 (V)] メニューから [Wkd/Cfm マスターデータ集計] のウィンドウを表示させた状況です。

マスターデータ (HAMLOG.MST ファイル) は、市郡等のチェックリストにもなっています。

ここで行う処理により、交信していれば Wkd が一つ増え、QSL カードを受け取っていれば Cfm が一つ増えます。これらの数をカウントすることにより Wkd/Cfm 件数がわかります。

図2の例では、7MHz 帯で 824 の市と交信し、そのうち 819 の市から QSL カードが届いています。

全バンドで見ると、876 の市と交信し、そのうち 874 の市から QSL カードが届いています。これらは、筆者の全バンド全モードでの状況です。

また、図2には消滅した市郡等も含まれています。

5.47b 無線局免許状～令和10年2月29日まで有効

ソ(Q)	表示(V)	ヘルプ(H)	使用データ(D) = D:\Ham log\HAMLOG.hdb	
	並べて表示(O)			Mode
	重ねて表示(I)			
25				FT8
25	ユーザーリスト表示(U)			FT8
25	テキストデータ表示(V)			FT8
25	テキストデータ表示(W)			FT8
25	Wkd/Cfm マスターデータ集計(M)...			FT8
25	Wkd/Cfm 一覧表示(H)...			FT8
25	エリア別交信件数(E)...			FT8
25	QSL 未着一覧(Q)			FT8
25	QSL 未着コール順一覧(S)...	F10		FT8
25	QSL 受領/発行状況一覧(I)			FT8
25	マスターデータ一覧表示(D)			FT8
25	ワッチデータの表示(A)...			FT8
25	バンド・モード別状況(B)...			FT8

図1 HAMLOG の表示メニュー

なお、JD1 (小笠原、南鳥島) にあつては、JCG ナンバーや町村コードが入力してあると DX の件数にはカウントされません。

マスターデータを一覧表示させてみる

図3は、入力ウィンドウに JCC ナンバーを入力するため、1 エリアの“あ”から始まる市を一覧表示させた状況です。

DX	Wkd/Cfm	市	Wkd/Cfm	郡	Wkd/Cfm	区	Wkd/Cfm	町	Wkd/Cfm	村	Wkd/Cfm
1.9	3/3		38/38		10/10		4/4		6/6		1/1
3.5			579/555		204/196		137/135		210/196		32/28
7	54/31		824/819		448/443		196/196		832/808		185/182
10			53/47		7/7		15/14		7/7		
14					1/1				1/1		
18			1/1								
21	7/2		38/38		10/10		5/5		6/6		
24											
28	1/1		41/39		21/21		6/6		13/13		1/1
50	7/5		659/648		407/400		118/114		534/520		132/131
144			549/536		241/233		124/116		351/335		89/83
430			290/266		81/74		79/75		118/109		22/20
1200			21/17		3/3		11/10		3/3		
2400											
5600											
SAT											
ALL	58/37		876/874		539/536		197/196		1193/1168		283/279

Mode指定 [] 集計開始番号 [1] 再集計 [閉]

図2 表示メニューから起動した[Wkd/Cfm マスターデータ集計]のウィンドウ

No	Code	QTH	Flag	1	3	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1200	2400	5600	SA	緯度・経度
/	1008	東京都昭島市	4あ1	C	C									C	C	C				N35, 42, 29
0	1029	東京都あきる野市	4あ1	C	C									C	C	C				N35, 43, 34
1	1113	神奈川県厚木市	4あ1	C	C									C	C	C	C			N35, 26, 24
2	1119	神奈川県綾瀬市	4あ1	C	C									C	C	C				N35, 26, 02
3	1215	千葉県旭市	4あ1	C										C	C	C	C			N35, 43, 02
4	1222	千葉県我孫子市	4あ1	C	C	C								C	C	C				N35, 51, 40
5	1319	埼玉県上尾市	4あ1	C	C	C		C						C	C	C	W			N35, 58, 28
6	1327	埼玉県朝霞市	4あ1	C	C	C								C	C	C	C			N35, 47, 38
7	1502	栃木県足利市	4あ1	C	C									C	C	C				N36, 20, 14
8	1611	群馬県安中市	4あ1	C										C	C	C				N36, 19, 23
9	1805	静岡県熱海市	4あ2	C										C	C					N35, 05, 34
A	2013	愛知県安城市	4あ2	C	C	C								C	C					N34, 57, 20

↑・↓キーでスクロール, Ctrl+数字でエリア, [λ^+ス]等で戻る, [Esc]で中断

図3 入力ウィンドウでJCCナンバーを入れる際、1エリアの“あ”から始まる“市”を選択している状況

図3はマスターデータを表示していますので、図2の[Wkd/Cfm マスターデータ集計]の結果です。

各バンドに“C”や“W”が表示されていますが、“C”がQSL受領済み(コンファーム)、“W”が交信済み(ワークド)となります。

モードを指定して集計してみる

図2では、左下の[Mode 指定]の欄が空欄のため、全電波型式での集計でした。

図4は、モードにFMだけを指定して集計してみた状況です。SSBも集計したい場合は、FM、SSBとカンマで区切って入力します。

図5(p.150)は、図4の集計結果(FMだけ)により、1エリアの“あ”から始まる市を一覧表示させた状況です。

集計開始番号を指定して集計してみる

図4の下の方にある[集計開始番号]は1番で、全交信が対象となっています。

例えば、ここを今年最初の交信のレコード番号にしておけば、今年になってからのWkd/Cfm状況を見ることができます。

[再集計] ボタン

図4の[Mode 指定]の内容の変更や、QSOデータを一部削除してもマスターデータ(HAMLOG、MST)に書き込まれたWkd/Cfm状況には反映されません。

この場合、[再集計]ボタンをクリックしてください。Wkd/Cfm状況を初期化してから再計算します。

Ctrlキーを押しながら[再集計]ボタンをクリックすると、初期化のみ実施してゼロにします。これは、図4の左上に表示されている右クリックメニューの[Wkd/Cfm 初期化のみ]と同じです。

右クリックメニューについて

図4、右クリックメニューの内容です。

DX	Wkd/Cfm	市	Wkd/Cfm	郡	Wkd/Cfm	区	Wkd/Cfm	町	Wkd/Cfm	村	Wkd/Cfm
1.9											
3.5											
7											
10											
14											
18											
21											
24											
28	1/1		36/34		16/16		6/6		13/13		1/1
50			16/15		6/5		1/1		5/4		1/1
144			5/5		3/3				2/2		
430			211/202		49/45		66/66		79/71		10/10
1200			16/15		3/3		9/9		3/3		
2400											
5600											
SAT											
ALL	1/1		232/222		64/61		71/71		94/86		12/12

Mode指定 [FM] 集計開始番号 [1] 再集計 [閉]

図4 [Wkd/Cfm マスターデータ集計]で、モードをFMに限定して集計した状況

No	Code	QTH	Flag	1	3	7	10	14	18	21	24	28	50	143	122	56	SA	緯度・経度
/	1008	東京都昭島市	4a1															N35, 42, 29
0	1029	東京都あきる野市	4a1															N35, 43, 34
1	1113	神奈川県厚木市	4a1															N35, 26, 24
2	1119	神奈川県綾瀬市	4a1															N35, 26, 02
3	1215	千葉県旭市	4a1															N35, 43, 02
4	1222	千葉県我孫子市	4a1															N35, 51, 40
5	1319	埼玉県上尾市	4a1															N35, 58, 28
6	1327	埼玉県朝霞市	4a1															N35, 47, 38
7	1502	栃木県足利市	4a1															N36, 20, 14
8	1611	群馬県安中市	4a1															N36, 19, 23
9	1805	静岡県熱海市	4a2															N35, 05, 34
A	2013	愛知県安城市	4a2															N34, 57, 20

図5 モードをFMに限定して集計し、1エリアの“あ”から始まる“市”を選択している状況

結果の印刷

表示されている[Wkd/Cfm マスターデータ集計]のウィンドウを印刷します。

エクセルに出力

エクセルがインストールされていれば、集計結果をエクセルで表示します※1。

Wkd/Cfm 初期化のみ

マスターデータ(HAMLOG.MST)のWkd/Cfmチェックフィールドを初期化し、Wkd/Cfm件数をゼロにします。

QSOデータ登録時の集計について

図6は、環境設定の[設定2]タブです。

ここの[登録したデータのWkd/Cfmチェックあり]にレ点が入っていれば、QSOデータを1件入力するたびに、それが未交信の地域であれば、マスターデータにWを書き込みます。

図6 環境設定の[設定2]タブ。[登録したデータのWkd/Cfm チェックあり]にレ点を入れておくと、未交信の地域とQSOすると、マスターデータ上の該当地域にWが書き込まれる

東京都特別区 (東京23区)の場合 について

2010年4月以降のQSOでは、東京都特別区(区ナンバー100101から100123まで)がそれぞれ“市”としてカウントされます。

HAMLOGでは、区ナンバー100101から100123までのほかに、“市”としてカウントさせるため1051から1073までのダミーデータが登録されています。

例えば、2010年4月以降に東京都千代田区とQSOした場合、マスターデータの100101と1051の両方にWが書き込まれます。

1051から1073までは、あくまでもJCCカウント用のダミーデータであって、公式のコードではありません。

[Wkd/Cfm マスターデータ集計]で集計される区の件数は、東京都特別区と政令指定都市の区のミックスとなります。

Wkd/Cfm 一覧表示 (H)

図7は、[Wkd/Cfm 一覧表示]のウィンドウです。各市郡区町村DX、グリッドロケーターにおける複

図7 表示メニューから起動した[Wkd/Cfm 一覧表示]のウィンドウ

数のバンド・モードごとの Wkd/Cfm 状況を一覧表示します。

“市”を選択した場合、2010年4月以降の東京23区の各区との交信は、それぞれ市と交信したものとして表示されます。

バンドの選択

複数のバンドを選択することができます。周波数に / が含まれる QSO データは、サテライトとしてカウントされます。

どのバンドにもレ点が入っていない場合は、全バンド指定となります。

[All] ボタンは、クリックするたびに全選択/全解除となります。

日付の範囲の指定

左側の日付が“00/00/00”の場合は、一番古い日付のデータから調べます。

右側の日付には、初期値として今日の日付が入ります。

モードの選択

図8は、環境設定の[プルダウン]タブです。

ここの Mode 欄に登録したものが図7に表示され、複数のモードを選択することができます。

なお、初期設定のままでは環境設定の[プルダウン]タブは空欄ですので、図7にモードは表示されません。

モードが表示されていない場合や、いずれのモードにもレ点が入っていない場合は、全電波型式の指定となります。

また、例えば J3E を指定しても SSB は検索しませんので、日頃から統一した入力に心がけてください。

環境設定				
設定1	設定2	設定3	設定4	設定5
No	Freq	Mode	Remarks 1・2	
1	3.5	SSB	%1 埼玉県加須市#1310 PK埼玉県114,カスリ	
2	7	FM	%1 茨城県猿島郡五霞町 PK茨城県67,利根川川口	
3	50	CW	%1 茨城県猿島郡陸奥町 PK茨城県083,さくらの	
4	144	FT8	%1 栃木県足利市#1502 PK栃木県125,大岩山	
5	430	FT4	%1 茨城県桜川市#1431 筑波山%	
6	.125		%1 群馬県甘楽郡甘楽町#16004A PK群馬024,1	

図8 環境設定の[プルダウン]タブ。ここに登録したモードが適用される

GL,4・GL,6・国内を選択した場合

ここが選択されている場合は、それぞれグリッドロケータースクエア、サブスクエアごとの Wkd/Cfm 状況の一覧を表示します。

GL,4では、グリッドロケータースクエアが4桁以上入力されているデータを対象とします。

GL,6では、グリッドロケータースクエアが6桁入力されているデータを対象とします。

国内では、政令市と郡を除外して市区町村を出力します。

特別区を除く

区が選択してある場合に有効となります。東京23区を除外し、政令指定都市の区だけを出力します。

表示後出力する

一覧表示後、ファイル、印刷、エクセルのいずれかの方法で結果を出力します。

消滅地域は無視する

一覧を表示するにあたり、マスターデータの QTH 欄に*印が書き込まれているデータ、つまり消滅している市・郡・区・町・村・DX は表示しません。

ファイル出力

図9のようにファイル出力を選択した場合、図9左

図9 [ファイル出力]を選択すると、出力ファイル名の設定が有効になる

下の「出力ファイル名」の欄でファイル名が指定されている必要があります。

ファイル拡張子を .CSV とした場合は、カンマ区切りのテキストファイルで出力します。

ファイル拡張子に .TXT とした場合は、一般的なテキストファイルで出力します。ただし、コールサインの長さが 11 文字を超える場合は、11 文字でカットして出力します。

印刷

図 10 のように印刷を選択した場合、図 10 左下の用紙の「左余白」と「上余白」が有効になり、「プリンタの設定」ボタンも表示されます。

「印刷の縦横変換」にレ点が入っている場合は、プリンターに用紙が縦に入っている場合でも横に印刷します。

コールサインの長さが 11 文字を超える場合は、11 文字でカットして印刷します。

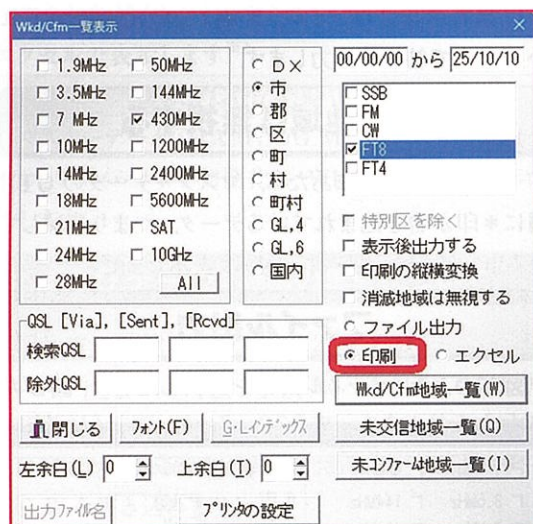


図 10 「印刷」を選択すると、用紙の余白や「プリンタの設定」が有効になる

エクセル

エクセルを選択した場合、一覧表示した内容をエクセルに出力します※1。

エクセルがインストールされていないパソコンでは、エラーとなります。

QSL [Via], [Sent], [Rcvd]

QSO データ中の QSL 欄の 3 文字です。

1 文字目 経由先 (Via) JARL 経由の場合は J

2 文字目 QSL 発行済み (Sent)

3 文字目 QSL 受領済み (Rcvd)

この内容に基づき、一覧表示させます。

対象の文字は、複数指定することができます。空欄の場合は無視されます。

検索QSL

検索対象の QSL 欄の文字を指定し、特定のマークのデータのみ一覧表示させることができます。

例えば、Via に J, Sent に E, Rcvd を空欄で指定すると、JARL 経由で、かつ、QSL 発行済みが E のデータを一覧表示します。

除外QSL

検索対象の QSL 欄の文字が存在しないデータのみ一覧表示させることができます。

例えば、Via に JD, Sent が空欄, Rcvd に * を指定すると、JARL 経由またはダイレクトで、かつ、QSL 受領済みが * のデータを除外して一覧表示します。

「Wkd/Cfm 地域一覧」ボタン

各バンドの市区町村 DX 等の Wkd/Cfm 一覧をコールサインとともに表示します。

図 11 は、筆者の交信状況で、144MHz の SSB で交信した「市」の一覧です。

ひとつの QTH につき 8 局まで表示し、それ以降は「他 n 局」のように省略します。

各コールサインの右側に (*) や (W) の付いているものは QSL カードを受領 (Cfm) した局で、QSL 欄の 3 文字目を表示しています。

JCC ナンバーの左側に Cfm と書いてある市は、QSL カード受領済み (Cfm) の市です。

一覧をダブルクリックしてみる

表示されたコールサインのセルをダブルクリックすると、そのコールサインで QSO データを検索し、[データの表示&修正] ウィンドウが表示されます。

「未交信地域一覧」ボタン

上記と逆に、未交信の地域の一覧を出力します。

図 12 は、筆者の場合の全バンド、全モードにおける未交信の「市」一覧です。5 市が未交信です。

No	Code	QTH	Call 1	Call 2	Call 3
188	Cfm 1301	埼玉県浦和市	*01/4 7M1FPV(*)	7M1FPV	J01FHI(*)
189	Cfm 1302	埼玉県川越市	JM1PFT(*)	JN1CS0(*)	JH1D0D(*)
190	Cfm 1303	埼玉県熊谷市	J01XHE(*)	JK1IWA(*)	J01XHE(*)
191	Cfm 1304	埼玉県川口市	7L1KNP(*)	JA1ICW(*)	7L1KNP(*)
192	Cfm 1305	埼玉県大宮市	*01/4 JI1GOY(*)	7K3A0H(*)	JL1CBN(*)
193	Cfm 1306	埼玉県行田市	JN1TZU/1(E)	7N2XHH(*)	7K1CR0(*)
194	Cfm 1307	埼玉県秩父市	J01EBB(*)	7M4MKQ(*)	J01EBB(*)
195	Cfm 1308	埼玉県所沢市	JI1BLK(*)	7L3MUJ(*)	JM1RSV(E)
196	Cfm 1309	埼玉県飯能市	7L4UAX(*)	7L4UAX(*)	JG1KTC/1(*)
197	Cfm 1310	埼玉県加須市	7L4JV0(*)	7L4JV0(*)	JJ1SKX(*)
198	Cfm 1311	埼玉県本庄市	JQ1SRJ/1(*)	JQ1NCG(W)	JG1ALJ/1(W)
199	Cfm 1312	埼玉県東松山市	JJ1KGM(*)	JA1CHJ(*)	JH1VQP(W)
200	Cfm 1313	埼玉県岩槻市	*05/3 JK1USA(*)	JA3VAP/1(E)	7M4TSC(E)
201	Cfm 1314	埼玉県春日部市	JP1PVS(*)	JL1VJI(*)	JN7EGV/1(*)
202	Cfm 1315	埼玉県狭山市	JA1MIM(*)	J11RBT(*)	JM1DKE(E)
203	Cfm 1316	埼玉県羽生市	7K3PQY/1(W)	JJ1CQS(*)	JJ1CKA(H)
204	Cfm 1317	埼玉県鴻巣市	JE1XMG(*)	J110KF(*)	J110KF(*)
205	Cfm 1318	埼玉県深谷市	JA1BVZ(*)	JA1BVZ(*)	JN1WHW(*)
206	Cfm 1319	埼玉県上尾市	J111RN(*)	7K1RVU(E)	J110KP(*)
207	Cfm 1321	埼玉県草加市	JN1CS0/1(*)	JE1VEL(W)	7N4WCD(*)
208	Cfm 1322	埼玉県越谷市	JA1GHV(*)	JF1HAC(E)	JF1VPP(*)
209	Cfm 1323	埼玉県蕨市	7M3XUM(*)	JK1BCH(*)	JE1TKC(*)
210	Cfm 1324	埼玉県戸田市	JP1INV(*)	J01SNA(*)	JA1QIF(*)
211	Cfm 1325	埼玉県入間市	J11RDD(*)	JF1AZQ(*)	JH1HHB(*)
212	Cfm 1326	埼玉県鳩ヶ谷市	*11/1 7M4GOM(*)	JF1ZFL/1(*)	7M4GOM/QR(7M)

図11 筆者の場合の、144MHz帯SSBで交信した“市”の状況

No	Code	QTH	F
1	4213	長崎県雲仙市	4う6
2	4312	熊本県上天草市	4か6
3	4313	熊本県宇城市	4う6
4	4314	熊本県阿蘇市	4あ6
5	4619	鹿児島県霧島市	4き6

図12 筆者の場合の、全バンド全モードにおける未交信の“市”

[未コンファーム地域一覧] ボタン

未交信の地域や、交信していてもQSLカードが届いていない地域の一覧を出力します。

図13は、筆者の場合の全バンド、全モードにおける未コンファームの“市”一覧です。

交信していてもQSLカードが届いていない地名のCODE欄には、*が付きます。

表示された一覧の、*印が付いたデータをダブルクリックすると、そのJCC/JCGナンバーで検索し、

No	Code	QTH	F
1	* 0205	青森県五所川原市	4ご7
2	4213	長崎県雲仙市	4う6
3	4312	熊本県上天草市	4か6
4	4313	熊本県宇城市	4う6
5	4314	熊本県阿蘇市	4あ6
6	4619	鹿児島県霧島市	4き6

図13 筆者の場合の、全バンド全モードにおける未コンファームの“市”

[データの表示&修正] ウィンドウが表示されます。

[フォント] ボタン

印刷するときのフォントを設定します。

[G・L インデックス] ボタン

グリッドロケーターで集計するときの、作業用インデックスファイルを作成します。

このインデックスファイルを元に、グリッドロケーターによるWkd/Cfm状況を出します。

QSOデータを入力/修正しても、このインデックスファイルは更新されませんので、グリッドロケーターによるWkd/Cfm状況を知りたい場合は、まずこのボタンをクリックしてください。

[左余白], [上余白] ボタン

印刷する場合の、用紙の余白を0.1ミリ単位で指定します。

Wkd/Cfm から除外する交信

図14は、環境設定の[設定1]タブです。

[Wkd/Cfm 除外] の欄にはPが入っています。

これは、QSL欄の1文字目がPであるデータは、交信してもワークド(Wkd)件数にカウントしない設定です。PのほかにノーQSLも除外しておきたい場合は、ここにPNと入れます。

[Wkd/Cfm 除外] の欄を空欄にしておけば、ノーQSLの交信であってもカウントされます。この設定は、[Wkd/Cfm マスターデータ集計] と [Wkd/Cfm 一覧表示] の両方に影響します。

それでは、次号に続きます。

◎◎

環境設定

設定1 | 設定2 | 設定3 | 設定4 | 設定5 | キー割当 | 7MHz | 設定6

タイトル(I) 無線局免許状~令和10年2月29日まで有効

入力ウインドウ ☒ B ☒ C ☒ D ☒ E ☒ F フォント変更

☒ 前回の交信内容から氏名をコピーする

☒ 最終データの日付時間をコピーする

☒ このRSTを初期値とする => 59 行間隔指定 8

☒ システムフォントを使う

☒ QSL欄の初期値とする => J

☐ 過去のQSOからQTHをコピー

☒ 前回の交信のQSL欄をコピー

Wkd/Cfm除外 P

図14 環境設定の[設定1]タブ。Wkd/Cfm から除外する交信のQSL欄1文字目